



全日本ミッドアマチュアゴルフフェーズ選手権

東日本地区予選

開催日：6月26日（木）

開催コース：富士ゴルフコース

〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中 262-1

TEL 0555-62-1227

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルール、競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルール、競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、次のものを含む。

現にプレーするホールにおいて、球が白杭を結んだ線を越えて、他のホールのインバウンズに止まっても、その球はアウトオブバウンズとする。

2. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則 16）

(a) 修理地

(1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域

(2) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型 F-7 を適用する。

(3) ジェネラルエリアの球：そのプレーヤーは規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。

(4) パッティンググリーン上の球：そのプレーヤーは規則 16.1d に基づいて救済を受けることができる。

(5) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた区域は修理地として扱われ、規則 16.1 に基づく救済を受けることができる。

(b) 動かさない障害物

(1) 白線の区域と動かさない障害物がつながれている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。

(2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべての物は、ひとつの異常なコース状態として扱われる。

(3) ウッドチップやマルチ（木屑）などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ（木屑）などの個体はルースインペディメントである。

(4) コース内の防球ネット（金網）が動かさない障害物となる場合、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決めなければならない。

(5) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝）。

(6) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

(C) 地面にくい込んだ球

規則 16.3 は次のように修正される：バンカーの上方の積み芝の面にくい込んだ球について罰なしの救済は認められない。

3. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

(a) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物。

(b) ペナルティーエリアにある人工的な護岸やパイリング（枕木等の構築物）。

4. クラブと球の規格

(a) 適合ドライバースヘッドリスト；ローカルルールひな型 G-1 を適用する：

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(b) 適合球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

(c) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き 4 6 インチの長さを超えるクラブを使ってはならない
ローカルルールひな型 G-10 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

5. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋲を有するスパイク

（メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない）。このローカルルールの違反に対する罰：規則 4.3 参照

6. プレーの中断と再会（規則 5.7）

本部より競技委員及びキャディの無線を通じて競技者に連絡する。

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 練習（規則 5.5）

(a) ラウンド前とラウンドの間の練習（規則 5.2）

規則 5.2 b は次の通り修正する。

プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習してはならない。

ただし、指定練習区域を除く。

(b) ホールとホール間の練習（規則 5.5 b）

規則 5.5 b を次の通り修正する。

二つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない

・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

8. キャディー

規則 10.3 は次のように修正される：プレーヤーは委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められている参加資格を満たしていなければならない。

2. タイの決定

予選競技：マッチングスコアカード方式により順位を決定する。

地区決勝・全日本大会においては、正規のラウンドが終わり 1 位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。尚、3 名以上でプレーオフが行われる場合、優勝

者以外の競技者は2位タイとする。また、悪天候、日没等により当日プレーオフが出来ない場合、またはプレーオフにて決定しない場合は最終ラウンドのスコアを比較し、スコアの良い競技者を優勝とする。それでも決定しない場合は、次の順で決定する。

最終ラウンドのマッチングスコアカード方式→委員会によるくじ引き。入賞者に対する記念品の贈呈及び他団体競技・当協会へのシード権付与に関しては、最終ラウンドのスコアを比較し、成績の良い競技者に資格を付与する。それでも順位が決定しない場合は、次の順で決定する。最終ラウンドのマッチングスコアカード方式→委員会によるくじ引き。

3. 競技の結果－競技の終了

競技の結果は最終成績表が競技会場の公式掲示板に掲載されたときに最終となる。

4. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、「競技規定」に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

5. スコアカードの提出（規則 3. 3b）

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

6. 競技の成立

本競技の競技者全員が規定のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議（再開、予備日など）するものとする。

7. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	368	505	155	375	430	556	180	422	459	3450
Par	4	5	3	4	4	5	3	4	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	Total
191	418	395	600	375	362	138	507	356	3342	6792
3	4	4	5	4	4	3	5	4	36	72

注意事項

1. ローカルルールに追加変更のある場合は掲示板（ホームページ含む）、スタートホールのティーイングエリア付近に告示する。
2. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会はすべての競技関係者。ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. ローカルルール 5 項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. コース内での携帯電話の通話は**緊急時以外（カートの故障・ケガ等）** 禁止する。**※コース内では必ず電源を OFF にすること。** ※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
6. 組合せスタート時間は別紙のとおりとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコース（TEL：0555-62-1227）に連絡すること。
7. プレーの進行は、ハーフラウンド2時間 1 5分以内とすること。先行組との間隔を不当にあげないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。（**トラブルがあって遅れた場合はその組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務があります**）
8. ラウンド中、ギャラリー等との接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、ペナルティを課すので注意すること。
9. 使用ティーメーカーは 青色（バックティー） とする。
10. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は**1 人 1 コイン（30 球）**を限度とする。
11. 受動喫煙を防止する為、健康増進法に基づいた対応につき所定の場所以外は禁煙とする。
※所定の場所とは灰皿が置いてある場所を示す。
12. 溝とパンチマークの規格
本競技は 2010 年 1 月 1 日施行の『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』を適用しません。※但し、本競技に付与された JGA 等他団体主催競技のシード権を行使する場合、本項目の条件が適用される場合があります。詳細は主催団体に各自ご確認下さい。

追 記 バックは口径 9.5 インチ、重量は 13 キロを超えないこと。

競技委員長 宇 野 義 大